

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるう

2018～2019年度

国際ロータリー会長 **バリー・ラシン**
2560地区ガバナー **川瀬 康裕**
高田ロータリー会長 **牧野 章一**
幹事 **佐藤 教彦**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第8回例会 ■ 8月31日(金)

No.8

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは。

今日は8月の最終日です。8月上越は、県内史上初の40度超えとか、稲の枯れ死で市の対策本部が設置されたり、また豪雨による避難勧告が出されるなどハードな1ヶ月となりました。

私の業界では、世界初の公道で自動運転タクシーの営業実験が始まりました。おそらく、皆さまの仕事にもドラスチックな変化が起きているのではないかと推察いたします。

変化する日々の中、「例会」を共有して 友情と奉仕を昂める。これは、時間的には短いですが新しい時代への感度を磨くことになると確信しております。

今日は、羽深耕時さんの会員卓話です。高田ロータリークラブの歴史、変化する状況への対応を学べると楽しみにしております。宜しく願いいたします。

おわります。

出席報告

出席率 96.43%

メイクアップ

牧野章一君 (8/25 地区補助金セミナー・8/25 財団セミナー)

古淵英一君 (8/25 地区補助金セミナー)

佐藤憲二君 (8/25 財団セミナー)

大谷光夫君・中田 正君・石倉 悟君・チャール

ズ・C・ストラットン君 (9/1 青少年交換受入れオリエンテーション)

ニコニコBOX紹介

高坂光一君——8/23のSAA・奉仕A合同委員会に急な出張で出席できず申し訳ありませんでした。関係の皆様にお詫びしたいのですが、本日も出張で例会欠席です。…という事で、心ばかりですがスマイルします。

委員会報告

2017-18年度出席ニコニコBOX委員会

出席率100%表彰

職業奉仕委員会——9/14 職場訪問 (岩の原葡萄園) のご案内

青少年奉仕委員会——9/29・30 ライラ研修について・高田RACチャリティーフリーマーケット実施報告

会員インフォメーション

木村 隆君——川上善兵衛生誕掲載記事について (新潟日報おとなプラス配布)

古淵英一君——10/26 ホクギン経営者講演会のご案内

幹事報告

配布物：週報No.6・7・2017-2018年度決算報告書・新潟日報おとなプラス

回覧：財団ニュース9月号・高田RACチャリティーフリーマーケット実施報告

報告：平成30年7月豪雨義捐金のお願い

会員卓話 ローターよもやま話



<私のロータリー暦>
1984年2月入会
(会長 丸山久雄さん:会員数61名)

1994～1995年 大島精次ガバナー誕生

大島ガバナーより新設ロータリークラブを作りたい旨の話がありました。星野会長と私はクラブ幹事エレクトの時でありました。

10月に高田東RCの村田会長・窪田幹事さん直江津RC前川会長・鳥津幹事さんからお集まり頂いて協議に入り3クラブ協力して会員の獲得を目指しました。

翌年にはRI承認手続きが完了して、出来上がったのが現在の越後春日山RCです。

2007～2008年 高田RC 53代会長

大島PGより、ガバナー会からの要請で高田RCよりガバナーを選出して欲しいとの要請文を頂きました。

選考委員長は田澤勸助先生からお勤め頂きました。東山昶也さんをガバナー候補として報告を受け、臨時クラブ総会を開催し承認を頂き、東山ガバナーが誕生いたしました。

2008～2009年 東山ガバナー年度地区幹事ノミニ

2009～2010年 東山ガバナー年度地区幹事エレクト

2010～2011年 東山ガバナー年度地区幹事

2011～2012年 石本ガバナー年度地区幹事・地区史編纂委員

2012～2017年 ローター地域協働ネットワークセンター 副センター長

2017～2018年 会員増強委員

現在 高田RC 在籍 36年

四つのテスト

1931年、包装済食品戸別訪問販売の職業分類でシカゴクラブの会員であったハーバート・テラー Herbert Taylor は、不況のあおりを受けて、莫大な借金を抱え倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けることになりました。もしも会社の再建に失敗すれば、250人の従業員が仕事を失うことになります。

彼はこの状況から脱出して、会社を再建するためには、合理的な指標がどうしても必要だと考えました。社長室の机で頭を抱えながら、思い浮かんだ24語の言葉を書き留めたのがこの四つのテ

羽深 耕時 君

トです。現行の「四つのテスト」は、東京クラブの本田親男氏の翻訳によるもので、1954年以来、日本人ロータリアンが座右の銘として親しんだ名訳です。

この四つのテストは、決して事業の倫理基準や商道德を高めることを目的に作られたものではなく、倒産の危機に瀕していた調理器具メーカーを再建させるために作られた、極めて現実的な基準だということです。

すなわち四つのテストというのは、学校や駅に貼り出したりして日常生活に適用するものではありません。四つのテストはあくまでも商取引にのみ適応するように作られた基準であることを忘れてはなりません。

ロータリークラブ最初の会長

第1番目に創設されたシカゴロータリークラブ(30名)の初代会長は、創設者のポール・ハリスのように思われがちですが、初代会長は石炭商のシルベスター・シール、初代幹事は不動産業のウイリアム・ジェンセンが就任しました。ポールは2年後に初めて会長になっています。

ロータリーのカラー

ロータリーの色(Rotary Color)については、ロイヤルブルー(濃紺色)と金色の2色に決められています。またロータリーの公式旗は、白地の中央に組織の徽章を配したものであり、輪郭全体とRotaryおよびInternationalの文字は金色、縁の窪んだ四つの部分はロイヤルブルー、中心と楔穴は白色と定められています。

ロータリーの歌

ロータリーに公式の歌はありません。しかし、例会で友愛と和やかな雰囲気をつくるために、多くのクラブでは他国語版の「ロータリー歌集」を用いて唱う習慣になっています。「奉仕の理想」「我らの生業」は、1935年 京都における地区大会で日本語のロータリーソングとして発表されたものです。

ロータリーの記念日

ロータリーの創立者ポール・ハリスが友人と第1回目の会合を開いた日、2月23日を創立記念日と定めています。この日は「過去を称える日ではなく、未来への努力を誓う日」とされ、「世界理解と平和の日」にも指定されています。